

少女マンガ家を通じて 少女マンガを考える

神出鬼沒連載

VOL. 6

前回の登場からすでに七ヵ月。その間
フェイム誌では編集長の交代があり、西
日本で一番いいかげんな連載といわれる
「ウルチマQ」も終了かと思われた。しか
し、読者諸氏が「やれ、思いつきり」と
言つてゐるような気がしたので、やる。
氣のせいだつたらミモフタもないが……
今回は大物、西村しのぶ（本物のマンガ
家）と巨人、石田秀雄（本物の本屋）を
ゲストに迎え、かねてから希望が多かつ
た『少女マンガ』がテーマなのだった。

一同 石田 あはははははははははははは
「サード・ガール」ってな、男向
け? 女向けなん?

西村 最初掲載されたのが男の人が読む雑誌（コミック劇画村塾）だったんで特に「少女マンガだ」と意識して描いてはいないです。

にしないで
チャツビー 絵のタッチがいわゆる「少女マンガ」っぽいから、最初見たときは女の子向けかなと思うけど、内容を読んだらユニセックスですよね。男の人が読んでも面白い。
ゆきたろう 西田さんもやさしく、ホーリー

「サードガール」は
少女マンガか？

石田 少年マンガ、少女マンガ、青年マング、レディースコミックと仮に四分割するやん、売れる商品で決まってんねん。男女問わず人気があること。どっかにしかウケないものはなんばい作品でも売れてない。女しか買わへんけど今でも売れ続けてるという唯一の例外が「ベルサイユのばら」やね。これだけが例外。チャラビーくらいから30前後ぐらいまで

人がバカスカ買つていくわけや。ああいう人らでどういう気持ちで買うてんのかなあ。やっぱ「これは少女マンガや」と思うてるんやろなあ。

西村 そつ、そう思います。宝塚もマンガも好きっていう。

西崎 なかつただうなあ〔苦笑〕。
西村 「微笑」とか「新鮮」とかの女性誌に少し載つてたくらいで。
西崎 まあいやらしいわ。頬が熱いわ。

西崎 じゃ少しずつ全部に置けばいい。
一同 あはははははははははははははははははは
石田 けどどんな層にもお客さんがいる
ていうのは珍しいパターンやわ。しのぶ
さん4年ぶりに単行本出したんや。普通
4年間沈黙してたらやな……（笑）
西村 読者のジェネレーションが変わっ
てますね（笑）。
石田 ほんと4年ぶりに出て、それがい
きなりバケモンみたいに売れるんやから
すごい力やわな。

ゆきたろう 西村さんもやけど、ホーリーのラインが下についてて、線が細くてたくさんあつて背景が妙に細かいのが少女マンガっぽい絵でいうヤツやね(苦笑)。

石田 「サード・ガール」でレディースでもない少女マンガでもないし、青年マンガでも少年マンガでもない、ワケのわからん中途半端な位置の作品やなあ。

チヤッピー あ、あんまりな言い方だ。

一同 あはははははははははははは

石田 そやけどな、困るで書店としてはどの棚に置いてええのかわからへん、どこに置いてもお客さんつくねんもん。

西村しのぶ 漫画家

コミック作家。「サート・ガール」(コミック・コサージュ連載中)「美紅、舞子」などで知られる。現在ピッグコミックスピリッツ誌で「メディックス」、アミ・ジュラ誌で「RUSH」、Star誌で「一橋に運搬したい人」をこのコーナーにも凸凹不定期で連載中。

石田秀雄 本屋
昭和29年京都市生まれ。
隣々堂コミックランド初代店長。書店の名門
隣々堂にあってその押しの強さと想説の勢い
で「書店業界の『隣々堂の琴譜』」の名を欲
しいまことにし、去る7月奥山商店(本のコ
ミック専門店)を開店。その後あるいはパワーは
同じ年に生まれたゴジラに逢じるものがある。

チャッピー フアン
昭和45年京都生まれ。
今だ就職活動と同間われる社会人一年生。
大学時代、髪型が「魔法使いチャッピー」に
似似していることからこのニックネームが与
えられ。以来4年間愛用している。マンガ好
き歴16年。印税を見る自由は誰にでもある。と言つておく。



西村しのぶ 漫画家

コミック作家。「サート・ガール」(コミック・コサージュ連載中)「美紅、舞子」などで知られる。現在ピッグコミックスピリッツ誌で「メディックス」、アミ・ジュラ誌で「RUSH」、Star誌で「一橋に運搬したい人」をこのコーナーにも凸凹不定期で連載中。



石田秀雄 本屋
昭和29年京都市生まれ。
隣々堂コミックランド初代店長。書店の名門
隣々堂にあってその押しの強さと想説の勢い
で「書店業界の『隣々堂の琴譜』」の名を欲
しいまことにし、去る7月奥山商店(本のコ
ミック専門店)を開店。その後あるいはパワーは
同じ年に生まれたゴジラに逢じるものがある。



チャッピー フアン
昭和45年京都生まれ。
今だ就職活動と同間われる社会人一年生。
大学時代、髪型が「魔法使いチャッピー」に
似似していることからこのニックネームが与
えられ。以来4年間愛用している。マンガ好
き歴16年。印税を見る自由は誰にでもある。と言つておく。



少女マンガが危ない

西崎 前回……あれはいつのことだったでしようか（笑）。少年ジャンプはギャグマンガとしてスタートした作品を出してはめて、戦いの繰り返しみたいな單調な展開にしてしまう、という話をしたんだけど、よく考えたら少年誌のストーリーものって基本的には全部トーナメント戦なのね。どうも少女マンガの方が発展の仕方が賢い。脳のシワが多いというか。ゆきたろう 球磨湖にバス釣りに行くとね、女の子は堅田の繁華街でいろんなことをして遊んでる。男は全員ルアー持つてる。やっぱり男の子はいつまでも幼いなあと思うんや。幼いころヒーロー物とかギヤグマンガみたいな單純なモノで育つてるでしょ、逆に女の子は恋愛物や思想物なんかを読んでたわけで、子供のころからハイレベルなもん見て育ってるから、どうしたって精神的には上行くわ。

石田 悅美小説読んでもん、少女は。一同 あははははははははははは。ゆきたろう 男の子にうけるのはギヤラクターとアイテムなんですよ。マンガからアニメに流れたヤツらは今みんなゲームに走ってるでしょ。結局ギヤラクターでウケてる。女の子からしたら同じ年の男の子は、子供っぽうで付き合ってられへんから、相手にされへん男が二次元に走ったということやと思うんやけどな。

西崎 少女マンガつてのはジャンルの発展の仕方が複雑だよね。で、ものすごくジャンルが細分化しちゃってるもんだから、今後少女マンガに大ベストセラーはなかなか出ないんだろうと思つてたのよ。したらばねえ、『美少女戦士セーラームー

ン』てのが切口をえて出ちゃった。營業戦略によるヒットね。作品と同時に人の商品を開発して、一度に全部完売してしまうやり方ね。これ方法論が「ドラゴンボール」とまるきり同じなんです。石田 あれに火をつけたんは男の子やで。かわいくてちょっとエッチやし。最初のうち買うて行つたん、男ばつか。その後女子供が「キャー」言うついてきたんやもん。ええで、足なんかグチャグチャ細うて長いし。知つてるか？ セーラームーンでなあ、フトモモが長いんやで。

一同 あはははははははははは。ゆきたろう ボク10年ぐらい前に「セーラー服のかわいい女の子が戦うマンガ」を考えてた。そんなんなかつたもん。

西崎 「スケバン刑事」は？ チャッピー 残念でした。『スケバン刑事』はスケバンやし私服やもん。

ゆきたろう ボクが10年前に考えたことが、今こう出てきてるわけやから、作り手がやっぱりボクらぐらいの年なんや。西崎 結局、女子供じやなくて「おとなおとな」の論理で売れる少女マンガが出来た。これで企業が味をしめたとなると、せつから今まで賣い展開をしてきた少女マンガが、今後バカになるんじゃなかろうか、実は今、ちょっとしたピンチなんですよ。

